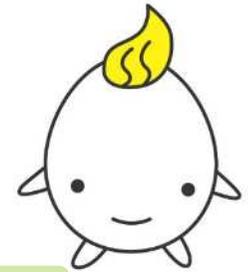


# お客さま本位の業務運営

(フィデューシャリー・デューティー)の

実践に向けた取組状況について

2023年度



- 三島信用金庫では、経営理念である「共存同栄」に基づき、お客さまの資産形成および資産運用に関する「お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）取組方針」を制定しました。
- 本方針の取組状況をお客さまにわかりやすくご確認いただけるよう、具体的な指標等を定期的に公表するとともに、お客さまの最善の利益を考え、取組状況や成果等を検証し、必要に応じて見直しを行ってまいります。

# 投資信託の販売額



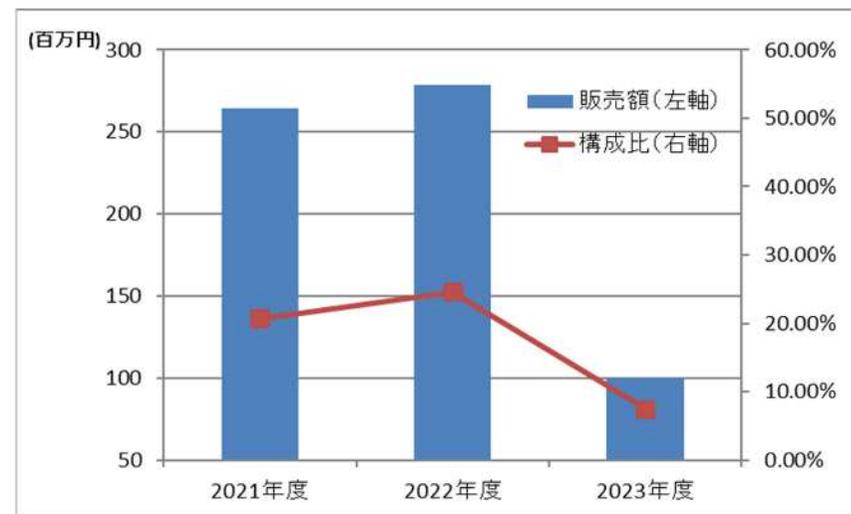
## 投信販売額と積立投信の販売件数

	2021年度	2022年度	2023年度
販売額	1,278百万円	1,134百万円	1,339百万円
うち積立	368百万円	454百万円	580百万円
うち積立件数	30,741件	37,619件	45,743件



## 毎月分配型の販売額・構成比

	2021年度	2022年度	2023年度
販売額	264百万円	278百万円	100百万円
構成比	20.68%	24.58%	7.47%



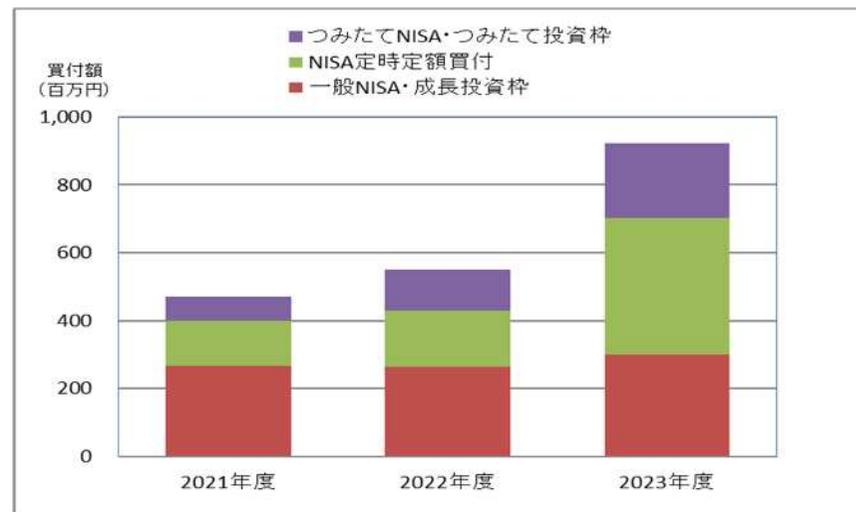
三島信用金庫では、資産形成をご希望されるお客さまのニーズやご状況に合った商品提案をしています。資産形成に効果的である長期・積立・分散投資の提案をしており、積立投信の販売件数が増加しています。

毎月分配型の販売状況については、新NISA対象外のファンドとなったことから、前年度より構成比が低下しています。

# NISAの取扱状況

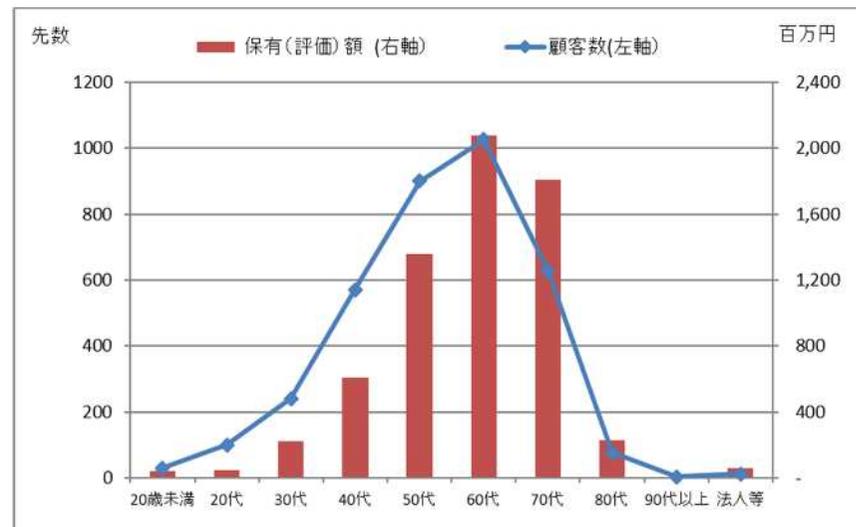


	2021年度	2022年度	2023年度
投信販売額 (NISA)	470百万円	552百万円	922百万円
うち積立投信	133百万円	163百万円	401百万円
うちつみたて NISA・投資枠	70百万円	123百万円	220百万円



## 年齢層別の口座数・評価金額

年齢層	顧客数 (口座数)	評価金額 (百万円)
20才未満	30	43
20才代	101	50
30才代	241	225
40才代	571	609
50才代	901	1,357
60才代	1,026	2,080
70才代	628	1,808
80才代	77	231
90才代	4	8
法人・団体等	13	57





# 投信インターネットサービス（IS）の状況



	2021年度	2022年度	2023年度	前年度比
投信 I S 取引口座数	1,662口座	2,072口座	2,526口座	+ 454口座
I S 買付件数	594件	378件	463件	+85件
I S 定時定額（契約・解約）	778件	446件	1,004件	+558件
I S 買付金額	292百万円	177百万円	223百万円	+46百万円

## <期待効果と現状の評価>

多様な販売チャネルの確保・店頭閉店時の受付サービス提供

- ・お客さまの利便性向上のためインターネットでの販売をご案内しており、インターネットを介してのお取引が増えています。
- ・IS買付件数は463件で、総買付件数1,162件に対して39.9%で、前年に引続き利用件数は高水準でした。
- ・IS買付金額は223百万円で、店頭・IS買付合計金額760百万円に対して29.3%となりました。
- ・アプリ（非対面）による投信口座等受付件数は42件でした。

## <今後の対応>

- ・投信インターネットサービス、アプリ（非対面）での投信口座・N I S A口座開設サービスをお客さまへの周知に努め、利用を促進します。
- ・2024年4月より、投信インターネットサービス利用時の一般買付について、購入時手数料を通常より30%引下げを実施、お客さまの利便性向上に努めています。
- ・モニタリングでは、顧客保護の観点から、特に75歳以上のお客様による I S 取引については、引続き十分に注意し、チェックします。

# 2023年度 アフターフォローの実施状況



金融商品・サービスをご購入・ご利用いただいた後も、お客さま一人ひとりに寄り添ったサービスの提供に努めています。

三島信用金庫では、預かり資産保有先のお客さまに対し、定期的かつ必要に応じたアフターフォローを行っています。2023年度は、運用状況・投資環境等を踏まえ、下記のアフターフォローを行いました。

## <2023年度アフターフォロー実施状況>

・ 特定口座・NISA口座を開設しているお客さま（延べ）	7,568回
・ 投資信託を保有の75歳以上のお客さま	281先
・ 外貨建保険をご契約のお客さま	311先

- ・ 預かり資産を保有しているお客さまに対し、運用状況やマーケット情報、セミナー案内などの情報提供を実施しました。
- ・ 対面だけでなく、電話やWebによるフォローを行いました。
- ・ 新NISA開始に向け、制度の周知に向けたアフターフォローに早期着手し、利益の確定やご利用口座の見直しなど、さまざまなお相談に対応しました。

## <商品販売後の検証実施内容>

当金庫は、法令等の遵守、お客さまにふさわしい金融商品・サービスの提案・販売等を行っているかなど、下記の項目において検証を行っています。

- ・ 面談内容（お客さまの意向や質疑など）を当金庫のデータベースに記録・検証
- ・ 各種アフターフォローの実施状況および実施内容の検証
- ・ 投資信託における短期売買・乗換（勧誘）
- ・ 生命保険における早期解約の理由および妥当性
- ・ 与信取引先への販売 ・ 高齢顧客に対する勧誘ルールの遵守状況

# 利益相反の適切な管理



「利益相反管理方針」に基づき、お取引における利益相反の可能性について正確に把握し、懸念がある場合は適切に管理します。

- ・三島信用金庫は、信用金庫法および金融商品取引法等を踏まえ、お客さまとの取引にあたり、本方針および当金庫が定める庫内規則に基づき、お客さまの利益が不当に害されるおそれのある取引を適切に管理し、お客さまの利益を保護するとともに、お客さまからの信頼を向上させるため、適正な業務を遂行しております。

※「利益相反管理方針」を当金庫ホームページに公表しています。

[https://www.mishima-shinkin.co.jp/declaration/conflict\\_interest/](https://www.mishima-shinkin.co.jp/declaration/conflict_interest/)

- ・金融商品の販売においては、お客さまに安心感・満足感をもってお取引いただくために、お客さまのニーズにあった適切な商品をご案内しており、当金庫の関連会社あるいは特別に親しい関係にある投信会社や保険会社はございません。
- ・当金庫では、営業部門から独立した管理部門の設置および責任者の配置を行い、利益相反のおそれのある取引の特定および利益相反管理を一元的に行い、適切に管理しております。

# 重要な情報のわかりやすい提供・手数料等の明確化



金融商品・サービスのしくみや特徴について、販売用資料やラインアップなどを活用して、お客さまの立場に立った、わかりやすい情報提供に努めています。

- ・金融商品・サービスの販売・推奨・提案を行うにあたり、商品の特性やリターン・リスク、お取引の条件、手数料等の費用、選定理由など、お客さまの投資判断に影響を与える重要な情報について、販売用資料やツールを利用して説明しています。
- ・また、当金庫ホームページにも、ライフプランに沿ったご案内や資産運用をサポートするコンテンツ、重要情報提供シートなどをご提供しています。
- ・複数の金融商品をパッケージ化した商品の販売は行っておりません。

○重要な情報については、以下の資料やツールを利用しています。

- ・投資信託商品ラインアップ
- ・取扱保険商品のご案内
- ・投資信託説明書（交付目論見書）
- ・商品概要書
- ・契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）
- ・パンフレット
- ・設計書（保険）
- ・資産運用サポートメニューコンテンツ「さんしん マネープラン」
- ・重要情報シート（個別商品編・金融事業者編）



# 重要な情報のわかりやすい提供



あなたにおすすめの投資信託はやや堅実派の投資信託です。

※毎月預金やバランス型の投資信託が中心となります。(リスクメジャー2のファンド)

**やや堅実派**

さんしんライフプラン

START!

就職

結婚

子育て・教育

マイホーム

### しんきん S&P500インデックスファンド ★★★★★

証券会社: しんきんアセットマネジメント株式会社

18,429円 ↑103円 (0.56%) 55,902百万円 国際株・北米 (F) 4 (やや高い)

2024年04月15日 更新日時: 2024年04月20日

**ファンドの特色**

本としてマザーファンドの受益証券への投資を主として、外国の金融機関が母体に構築している上場投資信託(ETF)に投資し、S&P500指数(配当込)に連動する長編成長を目指す。売買価格に留意する場合は、本ファンドの売買価格を参考にしてください。本ファンドは、透明性を高めるため、マザーファンド方式を採用し、12月決算。

**資産構成**

2023年12月20日 120円  
2022年12月20日 0円  
2021年12月20日 50円

投元本原価 170円

**資産構成**

国内株式	6%
外国株式	100%
円建て債券	0%
外国債券	0%
REIT	0%
その他	0%

**地域別上位**

アメリカ	100%
日本	0%

**地域別上位**

さんしん マネープラン

未来の自分のために今、考えよう

三島信用金庫

三島信用金庫ホームページ

資産運用  
サポートメニューコンテンツ  
「さんしん マネープラン」

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る重要情報シート (金融事業者編)

三島信用金庫

1. 当金庫の基本情報 (当金庫は、お客さまに金融商品の販売または販売仲介をする者です)

金融機関名	三島信用金庫
登録番号	登録金融機関 東海財務局長 (登金) 第 6 8 号
加入協会	未加入
当金庫の概要を記したウェブサイト	http://www.mishima-shinkin.co.jp

2. 取扱商品 (当金庫がお客さまに提供できる金融商品の種類は次のとおりです)

預金 (投資性なし)	○	預金 (投資性あり)	×
国内株式	×	外国株式	×
円建て債券	○※1	外国債券	×
特殊な債券 (住組債等)	×	投資信託	○
ラップ口座	×	ETF、ETN	×
REIT	×	その他の上場商品	×
保険 (投資リスクなし)	○	保険 (投資リスクあり)	○※2

これら以外の商品 NISA、iDeCo (個人型確定拠出年金) 等もご案内しております。  
※1 個人向け国債 ※2 保険代理店としての取扱い

3. 商品ラインナップの考え方 (商品選択のコンセプトや留意点は次のとおりです)

- 当金庫は、お客さまの金融知識や資産状況、取引の目的等に合わせた適切な商品をご提供できるよう、お客さまのライフステージ、ライフイベントに連動した商品をご提供しております。
- 社会環境の変化、お客さまのニーズの変化に合わせて、お客さまにとって魅力的な商品のラインナップとなるよう、定期的にラインナップの見直しを行っています。
- 商品のご提案にあたっては、お客さま一人ひとりのご意向、ライフプラン等をお聞かせいただき、適切な商品・サービスをご案内します。

4. 苦情・相談窓口

当金庫 お客さま相談窓口	電話 0120-775-501	当金庫営業日の9時~17時
上記以外の相談窓口	全国しんきん相談所 電話 03-3517-5825	東京弁護士会 電話 03-3581-0031
	第一東京弁護士会 電話 03-3595-8588	第二東京弁護士会 電話 03-3581-2249
	静岡県弁護士会 電話 055-931-1848	金融庁金融サービス利用者相談室 電話 0570-016811 (03-5251-6811)

2024年3月現在

# お客さまにふさわしいサービスの提供（1）



お客さま一人ひとりのご意向・ニーズを伺ったうえで、適切な商品・サービスをご案内します。

## 〈投資信託〉

投信ラインアップ				
	地域	取扱数	対面・ネット	
			対面・ネット	ネット専用
バランス	国内	-	-	-
	内外	7	7	-
債券	国内	-	-	-
	海外	5	3	2
	内外	2	1	1
株式	国内	7	7	-
	海外	10	10	-
	内外	5	5	-
リート	国内	2	2	-
	海外	-	-	-
	内外	1	1	-
その他		1	1	-
小計		40	37	3
販売停止中		2	-	-
合計		42	37	3

## 〈保険〉

種類			取扱数
個人年金			0
終身	定額	円建	2
		外貨建	1
		通貨選択	1
	小計		4
変額			0
一時払合計			4

種類			取扱数
個人年金	定額	円建	1
		外貨建	0
		通貨選択	0
	小計		1
平準払	終身	円建	0
		外貨建	0
		通貨選択	0
	小計		0
定期			1
がん			1
医療			1
小計			3
平準払合計			4

## 2023年度 新規取扱保険商品

新規商品	引受保険会社
やさしさ、つなぐ2	三井住友海上 プライマリー生命

## 2023年度 新規取扱投資信託

	新規銘柄	委託会社
1	しんきん世界好配当 利回り株ファンド (1年決算型)	しんきんアセット マネジメント投信
2	しんきんグローバル 6資産ファンド (1年決算型)	
3	しんきん 3資産ファンド (1年決算型)	
4	しんきん全世界株式 インデックスファンド	
5	米国連続増配 成長株オープン	岡三アセット マネジメント
6	ダイワ・インド株 ファンド	大和アセット マネジメント

※当金庫は、金融商品の組成には携わっておりません。

# お客さまにふさわしいサービスの提供（2）



地域のお客さまを対象とした「資産運用セミナー」や職場での「資産形成セミナー」など、各種セミナーを行います。

## お客さまを対象としたセミナー

セミナー	実施回数
資産運用セミナー	5回
職域セミナー	30回
遺言信託・家族信託セミナー	1回

### 〈セミナーについて〉

- ・ 地域のお客さまの「資産形成・資産運用」のきっかけとなるよう、専門の外部講師によるセミナーや金庫職員による職域セミナーなど、資産運用の必要性や新NISA、信託、相続などに関するセミナーを開催しました。
- ・ 今後も地域のお客さまのお役に立つセミナーを開催していきます。

三島信用金庫 «さんしん»  
資産運用セミナー

資産運用の必要性と新NISA  
～ 積立投資の活用とこれからの運用 ～

2024年 1月13日 (土)  
10:00～11:00 ※同じ内容で2回開催します  
13:00～14:00

会場  
三島信用金庫三島南支店 3階  
«サポートセンター夢»  
三島市新谷155-1

参加費 無料  
定員 20名

講師? アセットマネジメントOne株式会社

お問合せ・お申込み  
三島信用金庫サポート部  
担当? 長瀬 金井  
電話 055-981-0232  
受付時間? 09～17:00 (土・日・祝日除く)  
\* 二次元バーコードまたは電話にてお申込みください

さんしん 三島信用金庫



# お客さまにふさわしいサービスの提供（3）

お客さまが安心・安全なセカンドライフを実現するため、ご家族に大切な想いと資産を繋ぐため、資産の管理・承継に適切な商品・サービスをご提供します。

## 資産管理・資産承継の商品・サービス

商品	サービス
家族信託預金	家族信託組成支援（紹介）
さんしん後見支援預金	遺言信託（紹介）
	遺産整理（紹介）

- ・ 信託関連サービスは専門家である信託会社をご紹介しサービスをご提供します。
- ・ 信託関連サービスのご案内にあたっては、本部の専門的な知識を有する職員が、お客さまのニーズを伺い適切なサービスをご案内します。

さんしん

### 家族信託預金

家族（民事）信託とは、大切な財産を、信託契約により本人（委託者）に代わって信託できる家族等（受託者）に管理してもらうための仕組みのことです。

「家族信託預金」は受託者が託された財産の管理に活用する預金です。

項目	内容
預金の種別	・普通預金 ・無利息型普通預金
お預け入れ金額	・1円以上
ご利用いただける方	・家族（民事）信託受託者である個人のみ ・信託契約（公正証書）において、後継受託者・権限権利者（または残余財産受益者）・信託監督人（または受益者代理人）が選任された契約をされている方 *ただし、受益者権利の放棄（放棄）信託の場合、お預けできません。
お持ちいただくもの	・ご本人確認書類 ・ご印鑑 ・信託契約書（公正証書）の正本 ・相続関係図 ・預託争議証明書（信託財産に不承知がある場合） ・口座開設手数料 55,000円（税込）※ ・インターネットバンキングのお取扱いにはできません。 ・マル優のお取扱いにはできません。 ・預金保険制度の付保対象預金です。預金保険によって元本1,000万円までとその利息が保護の対象となります。 （当金庫に預託の口座がある場合、受益者個人名義の口座がある場合には、その口座の預金残高合計が1,000万円以内でその旨が記載されます。） ・無利息型の場合は全部保護されます。
手数料 その他	

【お問い合わせ先】  
三島信用金庫 ライフサポート部 ライフデザイン課 シニアサポートグループ  
電話：056-981-0282

三島信用金庫 2021

# 職員に対する適切な動機付けの枠組み（1）



## 継続的な職員向け研修・教育

「安心・安全で、良質なサービス」をお届けする「人財」を育成するための研修を実施しています。

研 修	実施回数
階層別研修（在庫年数・担当業務別等）	5回
対面・WEB勉強会（商品・市場環境等）	18回
ライフアドバイザー集合研修	2回
コンプライアンスに係る各種	39回
マネーロンダリング研修	31回

- ・全職員を対象に「顧客本位の業務運営」をテーマとした勉強会を実施しました。
- ・三島信用金庫が公表している「お客さま本位の業務運営取組方針」について、全職員を対象に「役員によるコンプライアンス研修」を行い、企業文化として「お客さま本位の業務運営」を定着するよう努めています。

### <研修について>

- ・職員の担当業務や職責別の階層に応じた研修を行うことで、お客さまにとってより良い提案を考え、行動する職員を育成します。
- ・営業店ごとの勉強会により、営業店職員へのサポート・育成に努めています。
- ・各専門の外部講師による月1回のWEB勉強会を実施し、商品性や市場環境等に関する専門的知識習得に努めています。
- ・商品内容を学ぶ動画コンテンツ等を常時庫外閲覧システムへ掲載し、自己啓発に努めています。
- ・通期にわたりコンプライアンス関連の研修を実施しています。
- ・『犯罪収益移転危険度調査書』および『疑わしい取引の届け出の分析結果』に基づき作成したリスク評価書について、全職員に向けた研修を実施し、当金庫の営業特性を周知しました。また、マネロンガイドラインのFAQ項目について、当金庫が定める規程・要領に反映し、その内容について研修を実施しました。

## 職員に対する適切な動機付けの枠組み（2）



情報の提供、商品の提案に際し、より適切なコンサルティングサービスの提供を目指し、高度な知識や資格を備えた「人財」を育成します。

### FP資格保有者（ファイナンシャルプランナー）

お客様のライフスタイルや経済環境を踏まえ、家族状況、収入と支出の内容、資産状況などをもとに、将来のライフプランニングに即した資金計画やアドバイスを行います。

	FP 1 級	FP 2 級
2023年度	10人	268人

### ライフアドバイザー

お客様のサポート役として、金融商品・サービスの専任担当者「ライフアドバイザー」を任命し、お客様にきめ細やかなサービスを提供します。

職員やライフアドバイザーを対象に継続的な勉強会・情報交換を行い、職員のスキルアップに努めております。

	営業店職員	本部職員
2023年度	9人	1人

「お客様の課題を解決して、付加価値を高める」「必要な時に、適切な提案で、お客様に喜ばれる仕事をする」職員の育成に努めています。



# 共通KPIの指標について

## 〈投資信託共通KPI指標算出基準〉

対象ファンド	投資信託の預かり残高上位20銘柄（設定後5年以上）
コスト	（購入時手数料÷5）+信託報酬（年率）
リターン	過去5年間のトータルリターンの標準偏差（年率換算） 騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用
リスク	過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算） 騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用

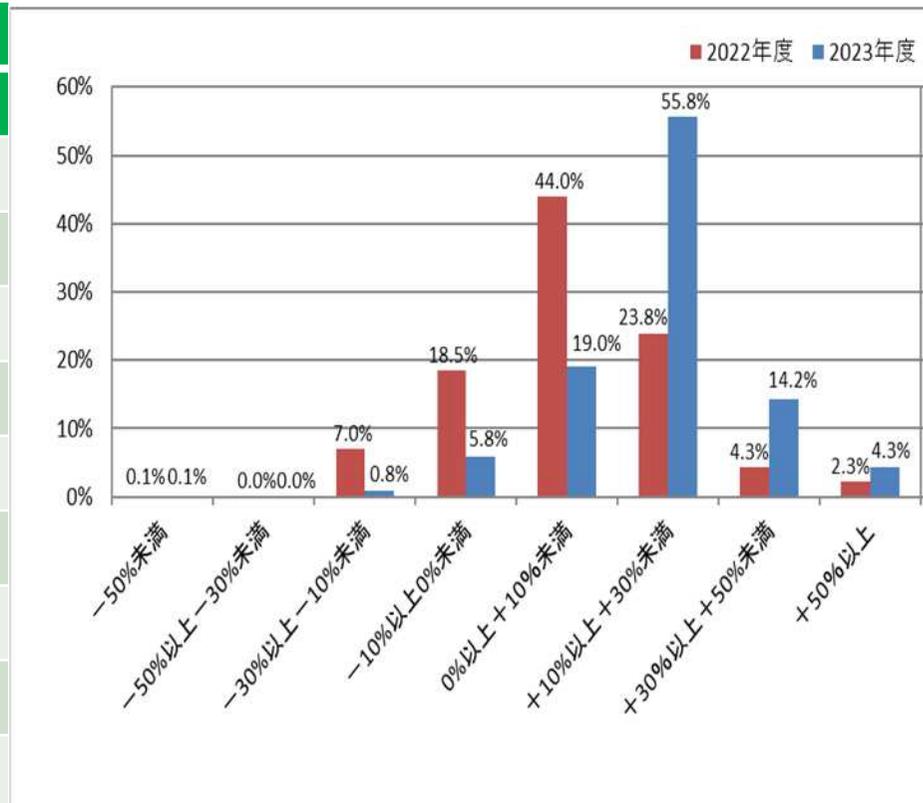
## 〈外貨建保険共通KPI指標算出基準〉

運用損益別顧客比率	外貨建保険を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有外貨建保険に係る購入時以降の累積の運用損益を算出し、運用損益別に比率を示した指標です。なお、運用損益には市場金利（価格）調整や解約控除等を反映します。この指標により、個々のお客さまが保有している外貨建保険について、購入時以降どれくらいのリターンが生じているか見ることができます。
外貨建保険の銘柄別コスト・リターン	当金庫で販売した外貨建保険のうち、基準日時点で契約日から5年以上経過している契約の各保険商品銘柄について、平均コストと平均リターンの関係を示した指標です。この指標により、金融事業者が提供した商品コストとリターンのバランスを、中長期的に見ることができます。 ※本KPIの公表対象は2024年3月末時点で契約日から60カ月以上経過した契約ですが、当金庫で販売した外貨建て保険のうち該当する契約はありません。

# 投資信託の運用損益別顧客比率（共通KPI）



【運用損益の区分】	2022年度		2023年度	
	顧客数	割合	顧客数	割合
+50%以上	79	2.3%	153	4.3%
+30%以上+50%未満	147	4.3%	508	14.2%
+10%以上+30%未満	815	23.8%	1,995	55.8%
0%以上+10%未満	1,508	44.0%	680	19.0%
-10%以上0%未満	632	18.5%	209	5.8%
-30%以上-10%未満	240	7.0%	30	0.8%
-50%以上-30%未満	0	0.0%	1	0.0%
-50%未満	3	0.1%	3	0.1%
合計	3,424		3,579	



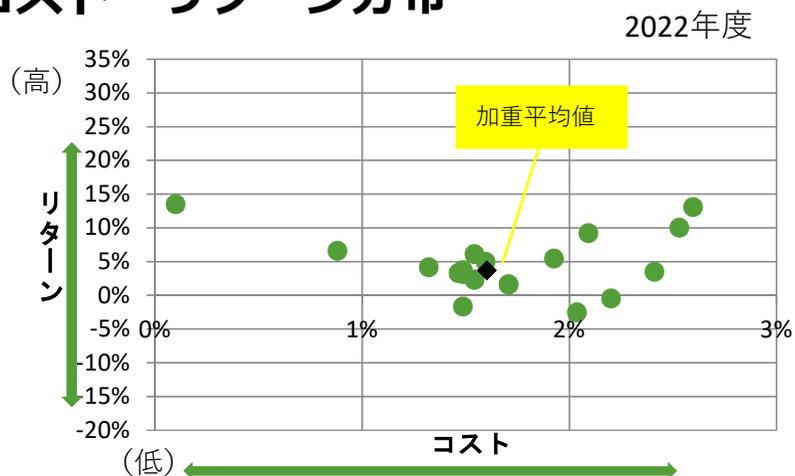
## 【運用損益別顧客比率】

基準日時点で投資信託を保有しているお客さまの購入日以降の累積の運用損益を算出し、運用損益別に顧客比率を示した指標です。この指標により、お客さまの運用損益がどのように分布しているかを見ることができます。

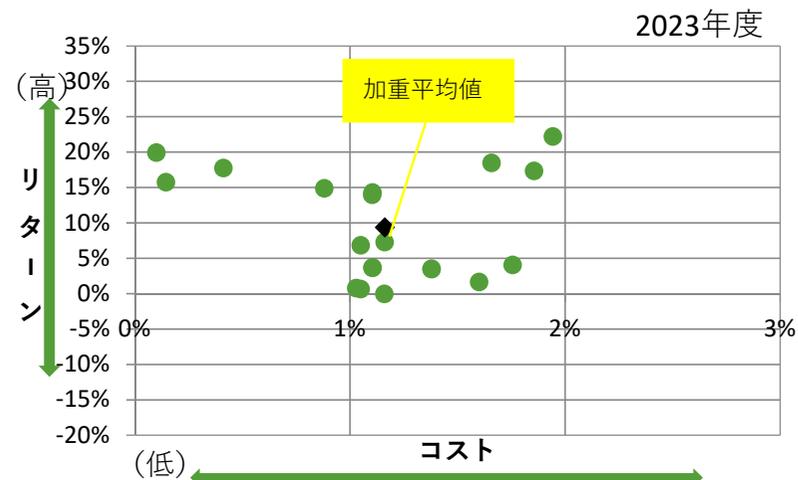
# コスト・リターン分布／リスク・リターン分布（共通KPI）



## コスト・リターン分布

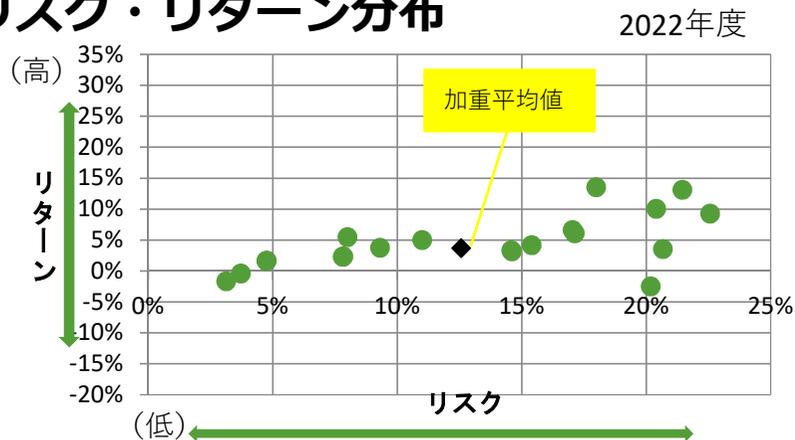


残高加重平均値	コスト	リターン
	1.60%	3.72%

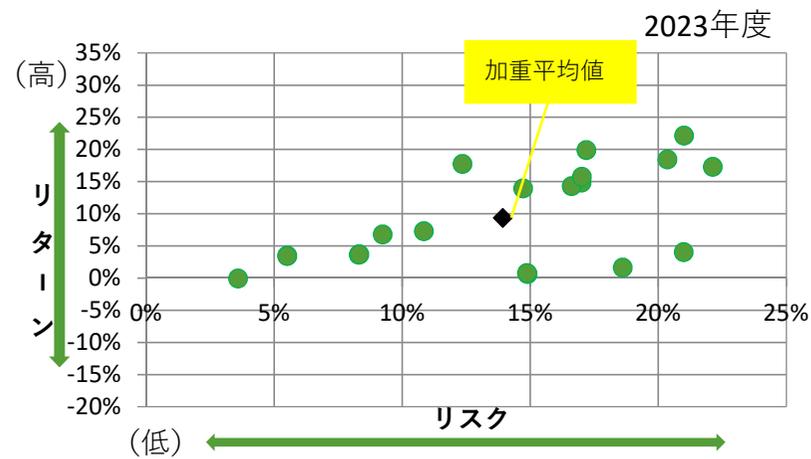


残高加重平均値	コスト	リターン
	1.16%	9.36%

## リスク・リターン分布



残高加重平均値	リスク	リターン
	12.56%	3.72%



残高加重平均値	リスク	リターン
	13.93%	9.36%

# 投資信託残高上位20銘柄のリスク・リターン/コスト・リターン（共通KPI）



預り残高上位20銘柄についてコストやリスクに対するリターンを表示しています。  
 今後もお客さまの資産形成ニーズにお応えするため、長期・積立・分散投資に適した商品の  
 導入やラインアップの見直しに取り組みます。

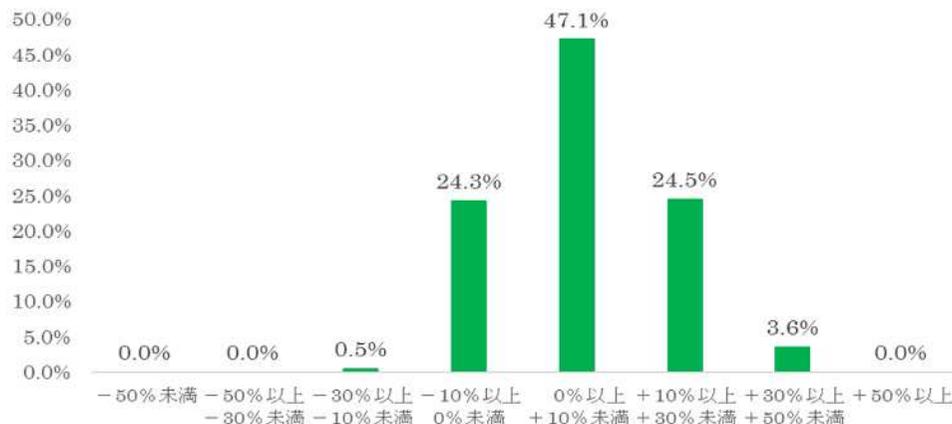
順位	銘柄名	2022年度			2023年度		
		コスト	リスク	リターン	コスト	リスク	リターン
1位	しんきんインデックスファンド225	0.88%	17.04%	6.60%	0.88%	17.00%	14.87%
2位	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	1.49%	9.31%	3.74%	1.05%	9.24%	6.82%
3位	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	1.49%	14.60%	3.17%	1.05%	14.90%	0.65%
4位	しんきん世界アロケーションファンド	1.49%	3.12%	-1.65%	1.16%	3.60%	-0.06%
5位	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	2.60%	21.45%	13.09%	1.94%	21.01%	22.19%
6位	ダイワ・インド株ファンド	2.51%	23.79%	8.58%	1.85%	22.13%	17.34%
7位	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3カ月決算型)	1.54%	17.12%	6.11%	1.10%	16.62%	14.30%
8位	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	1.60%	11.00%	4.97%	1.16%	10.84%	7.30%
9位	女性活躍応援ファンド	2.04%	20.19%	-2.50%	1.60%	18.61%	1.64%
10位	しんきん好配当利回り株ファンド	1.32%	15.39%	4.16%	1.10%	14.72%	13.95%
11位	たわらノーロード先進国株式	0.10%	17.99%	13.54%	0.10%	17.20%	19.90%
12位	三井住友・グローバル・リート・オープン	2.41%	20.68%	3.52%	1.76%	21.00%	4.04%
13位	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	2.53%	20.40%	10.03%	1.66%	20.36%	18.45%
14位	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	1.54%	7.81%	2.31%	1.10%	8.31%	3.64%
15位	しんきんJリートオープン(1年決算型)	1.46%	14.58%	3.32%	1.03%	14.88%	0.78%
16位	グローバル・ソブリン・オープン(資産成長型)	1.71%	4.75%	1.65%	1.38%	5.52%	3.51%
17位	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.71%	4.75%	1.60%	1.38%	5.52%	3.47%
18位	ゴールド・ファンド(為替ヘッジなし)	0.85%	11.74%	12.52%	0.41%	12.36%	17.75%
19位	DIAM高格付インカム・オープン(1年決算コース)	1.54%	7.84%	2.34%	1.10%	8.34%	3.68%
20位	たわらノーロード日経225	0.14%	17.07%	7.40%	0.14%	17.03%	15.75%

# 外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI



金融庁が2022年1月に公表した「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI」に基づき、2024年3月末基準で算出した数値を公表します。

## (1) 外貨建保険の運用損益別顧客比較



- ・2023年度の一時払終身保険全体の販売件数のうち、外貨建保険の販売件数が占める割合は、20.2%でした。
- ・2024年3月末は、市場金利の調整において、米国金利の上昇が不利にはたらいっているお客さまがいる状況でした。同時に、円安や長期保有をしたことによる効果が有利にはたらいっているお客さまも多にいる状況でした。

※基準日に外貨建保険を保有しているお客さまが対象になります。

## (2) 外貨建保険の銘柄別コスト・リターン

当金庫では、2019年5月から外貨建保険の取扱いを開始したため、KPI公表対象（契約日から60カ月以上経過）となる契約は、現状ございません。

### <参考> 2023年度に当金庫でお取り扱いした一時払終身保険の販売状況





三島信用金庫